

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

おん ね ない

# 月刊 温根内 通信

2024年8月号 No.335

8月15日(木)発行



## ドクゼリの風景

エゾシカの食害を免れたドクゼリの群落が、ガマの穂と一緒に風に揺れていました。1990年代に撮られた温根内の夏頃の写真をみると、ドクゼリの花が木道沿いに鬱蒼と咲いていたのですが、今はそのような風景は見られなくなりました。

悪者扱いされがちなエゾシカですが、それでも湿原で草を食む彼らの姿はいつ見てものどかで、安心感を与えてくれます。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた自然 (7/15 ~ 8/14) ☆☆☆



【トウヌマゼリ】  
 セリ科 唐沼芹  
 ドクゼリに少し遅れて咲くセリ科の植物。今はこの花が木道で目立っています。



【ミズオトギリ】  
 オトギリソウ科 水弟切  
 日中の限られた時間に咲くオトギリソウの仲間。ハンノキ林などの足元でひっそりと咲きます。



【タチギボウシ】  
 クサスギカズラ科 立擬宝珠  
 ミズゴケ湿原で数株が咲いていました。温根内から姿を消しつつある植物で、花を見ると感慨深くなります。



【クルマユリ】  
 ユリ科 車百合  
 温根内では10年ぶりの確認でした。車輪のような輪生する葉をつけることからこの名がついています。



【コエソゼミ】 セミ科  
 こちらでの夏のセミと言えばこの種。「ジ〜〜…」という声で長く鳴き続けます。本州の人には聞き慣れない声で、不思議がられることも。



【ミヤマクワガタ】 クワガタ科  
 立派なオスがヨシにしがみついていた。湿原周辺の林から飛んできて稀に姿を見かけます。子どもたちから絶大な人気を誇る昆虫。

○表紙の写真 上:ドクゼリとガマ 下:エソシカ

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた野鳥（7/15～8/14） ☆☆☆

釧路湿原では賑やかだった鳥たちの声は少なくなりましたが、親鳥を追いかける巣立ち雛の姿や、留鳥がまだ見られています。これからは渡りの時期を迎えます。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸し出しております。



【コヨシキリ】 夏鳥  
ヨシキリ科 小葦切  
「ジャッ！」という地鳴きでヨシの間に身を隠します。嘴に虫を咥え、雛に餌を運んでいたようです。



【マキノセンニュウ】 夏鳥  
センニュウ科 牧野仙入  
虫のような鳴き声で鳴き、姿を見せるのが稀な種。初めて見たとき、意外に小さい！という印象でした。



【アオジ（幼鳥）】 夏鳥  
ホオジロ科 青鷗  
茂みから飛び出してくる鳥は大抵は本種です。幼鳥が初めての渡りに備えています。

○温根内木道周辺で観察された花と鳥（7/15～8/14）

花（和名は五十音順 *外来種）		39	カラフトホソバハコベ*	78	ナンバンハコベ	鳥（和名は日本鳥類目録第7版の順）	
1	アカネムグラ	40	キオン	79	ネジバナ	1	マガモ
2	アキカラマツ	41	キツネノボタン	80	バイケイソウ	2	アオバト
3	アキノウナギツカミ	42	キツリフネ	81	ハシドイ	3	タンチョウ
4	イケマ	43	キンミスヒキ	82	ハナタデ	4	クイナ
5	イヌタデ	44	クサイ	83	ハリコウガイゼキショウ	5	カッコウ
6	イヌトウバナ	45	クサノオウ	84	ハンゴンソウ	6	アマツバメ
7	イヌホオズキ	46	クサフジ	85	ヒメジョオン*	7	トビ
8	イワノガリヤス	47	クサヨシ	86	ヒメムカシヨモギ*	8	ノスリ
9	ウツボグサ	48	クサレタマ	87	ヒヨドリバナ	9	カワセミ
10	ウド	49	クルマバナ	88	ヒロハヒルガオ	10	コゲラ
11	ウマノミツバ	50	クルマユリ	89	ヘラバヒメジョオン*	11	オオアカゲラ
12	エソイヌゴマ	51	コウゾリナ	90	ホザキシモツケ	12	アカゲラ
13	エソイラクサ	52	ゴキツル	91	ホソバアカバナ	13	モズ
14	エソオオヤマハコベ	53	コハコベ	92	ホソバイラクサ	14	ハシボソガラス
15	エソシロネ	54	コメツブウマゴヤシ*	93	ホソバノシバナ	15	ハシブトガラス
16	エソトリカブト	55	サギスゲ（実）	94	ホソバノヨツバムグラ	16	ハシブトガラ
17	エソナミキ	56	サシオモダカ	95	ミカツキグサ	17	ヒガラ
18	エソノカウチシャ	57	サウギキョウ	96	ミス	18	シジュウカラ
19	エソノキツネアザミ	58	シオガマギク	97	ミスオトギリ	19	ヒヨドリ
20	エソノシモツケソウ	59	シナノキ	98	ミソガワソウ	20	ウグイス
21	エソノミツモトソウ*	60	シロツメクサ*	99	ミソソバ	21	ヤブサメ
22	エソノヨロイグサ	61	セイヨウタンポポ*	100	ミソホオズキ	22	センダイムシクイ
23	エソノレンリソウ	62	セイヨウノコギリソウ*	101	ミツバ	23	マキノセンニュウ
24	エソミクリ	63	セリ	102	ミツバフウロ	24	シマセンニュウ
25	エソムグラ	64	タカアザミ	103	ミツモトソウ	25	エソセンニュウ
26	エソヤマアザミ	65	タチギボウシ	104	ミミコウモリ	26	コヨシキリ
27	オオアワガエリ*	66	タニソバ	105	ミミナグサ	27	ゴジュウカラ
28	オオウバユリ	67	タヌキモ	106	ミヤマアキノノゲシ	28	キバシリ
29	オオダイコンソウ	68	チドリケマン	107	ムラサキツメクサ*	29	クロツグミ
30	オオヌマハリイ	69	ツメクサ	108	モウセンゴケ	30	ノビタキ
31	オオバコ	70	ツリフネソウ	109	ヤナギタンポポ	31	コサメビタキ
32	オオバタネツケバナ	71	トウヌマゼリ	110	ヤネタヒラコ*	32	キビタキ
33	オオバナヤエムグラ	72	トキシソウ	111	ヤブジラミ	33	ニューナイスズメ
34	オトギリソウ	73	ドクゼリ	112	ヤブマメ	34	ピンズイ
35	オニノヤガラ	74	トモエソウ	113	ヤマニガナ	35	カワラビワ
36	カタバミ	75	ナガバナウナギツカミ	114	ヤマハギ	36	ベニマシコ
37	ガマ	76	ナガボノシロワレモコウ	115	ヤマハハコ	37	アオジ
38	カラフトノダイオウ	77	ナスナ	116	ヨブスマソウ	38	オオジュリン

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆ ヒグマに出会わない心がけを ☆☆☆☆

8月3日、温根内木道上でヒグマの足跡が確認され、この日から木道を閉鎖させていただきました。その後、痕跡等が周辺で確認されなかったことから閉鎖を解除しました。北海道はヒグマの生息地であることを認識し、ヒグマと遭遇しないように心がけましょう。ビジターセンターでは熊鈴を無料でレンタルしておりますのでお気軽にお声がけください。  
※予定されていた「夏休み！外来植物を探そう」は中止となりました。



☆☆☆☆☆ 温根内イベントカレンダー（9月） ☆☆☆☆☆

イベントの申し込みは開催日の1か月前から受け付けています

日	月	火	水	木	金	土
1 ♪アイヌの人々が利用した植物	2	3 休館日	4	5	6	7
8	9	10 休館日	11	12	13	14
15	16	17 休館日	18	19	20	21 ♪PVスポットガイド
22	23	24 休館日	25	26	27	28
29	30					

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み☎0154-65-2323

♪アイヌのの人々が利用した植物

〔日時〕9月1日（日）10：00～12：00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

初秋を迎えた温根内周辺を歩き、アイヌの人々が利用した植物を観察しながら彼らの自然観と知恵を学びます。

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み☎015-487-3003

♪ムックリを作ってみよう

〔日時〕9月28日（土）13：00～15：00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕550円（材料費）

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～熱中症にもご注意を～

道内各地は今年も暑い日が続いています。温根内木道は途中で日陰になる構造がありませんので、熱中症には十分にお気をつけて散策をお楽しみください。



月刊 温根内通信 No.335

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@kushiro-shitsugen-np.jp

ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/

Facebook：温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間：9：00～17：00（11月～3月は16：00まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館）入館無料